



高見 博道 議員
(令和新風加西)

在田南部地区圃場整備事業について



問 殿原町、笹倉町、越水町、中富町、玉野町の一部の圃場整備である在田南部地区圃場整備事業が令和6年度に採択を受けて1年がたつ。現在の計画の進捗状況について説明願いたい。

答 在田南部地区圃場整備事業は、令和6年度に県営事業として採択を受け、令和14年度に事業完了予定となっています。令和6年度は地区界測量や設計に着手し、当初計画どおり圃場整備予定区域の南側より整備が進んでいます。

問 各町では営農組合の立ち上げや法人化など、大変なご苦労をされている。町ごとの現在の状況を説明願いたい。

答 圃場整備予定区域の南部の地域である玉野、笹倉、中富から実施設計の図面を作成しています。令和8年度の工事着手に向けて地元と協議しており、中富工区では、残りの部分の地区界測量及び実施設計を行う予定となっています。農地集積により、地元負担金を大幅に減らすことができるため、各町とも営農組合の設立に向けて取り組んでいるところです。法人化にはまだ時間はかかりますが、地域での協議等にも参加し、各町と相談しながら進めているところです。

問 順調に進むと令和14年度に完成するが、今後の予定

を伺う。

答 地区全体の予定は、令和9年度に本工事と並行して越水工区、殿原工区の地区界測量、詳細設計を開始する予定となっています。地元との調整を図りながら早期の工事着手、完了を目指して、できるだけ全体が早く完了できるように、国、県に要望していくとともに、市としても支援していきたいと考えます。

要望 市内の圃場整備が一通り終わり、2回目を考えている町もあります。そのモデル地区になると考えますので、順調に進むよう行政としてしっかりフォローしていただくようお願いしたい。

■その他の質問項目

- ・ 泉統合小学校について
- ・ 加西インター産業団地について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

県道下滝野市川線の整備は



問 現在進行している山田町工区は、通学路の関係で若干設計が変更になると聞いている。現状と今後の予定は。

答 事業主体である兵庫県としては、令和7年度は引き続き用地買収と物件補償を進め、さらには和泉東交差点付近から文化財調査を実施する予定とのことです。予算や用地等の諸条件が整い次第、令和8年度から工事を行う見込みですが、予算の確保に苦慮されている状況です。

兵庫県では、通学路整備に重点

を置いて歩道整備を進めており、小学校統廃合による通学路の変更や、通学バス乗り合い場所の選定に伴い、一部計画変更も視野に入れて、実情に合った歩道整備を進めていくこととなります。

問 山田町工区が整備された後は、馬渡谷口から鍛冶屋町までの区間が未整備で残ることになる。この上り坂はセンターラインのない道路で、先には三つのコーナーもあり、交通の難所になっている。同じく擦れ違いに苦労している泉地区を含め、今後の整備の見通しは。

答 馬渡谷町区間、泉区間の歩道整備については、現在先行している山田町工区に一定のめどが立った後となると考えています。現在、馬渡谷町区間は、ひょうごインフラ整備プログラムにお

いて、事業候補箇所として記載されています。市内の他の路線の進捗を見ながら、整備箇所として早期着手となるよう要望してまいります。泉区間は次の事業候補地となるよう進めたいと考えます。

要望 学校統廃合に向けて、通学バスが擦れ違いに苦労する場所を整備していただきたい。



■その他の質問項目

- ・ スクールバス計画について
- ・ 公共交通について